

# 那覇市都市型MICE振興戦略（案）

---

那覇市

## 第1章 MICEと戦略策定について

- 1 MICEとは
- 2 戦略策定の背景・目的
- 3 都市型MICE 振興の意義・効果
- 4 都市型MICE 振興戦略の位置づけ

## 第2章 那覇市MICEの現状について

- 1 国内のMICE を取り巻く環境
- 2 那覇市のMICE受入施設（中心市街地エリア）
- 3 那覇市のMICE受入状況
- 4 MICE推進上の課題

## 第3章 都市型MICE振興戦略

- 1 基本的な考え方・視点
- 2 取組の柱
- 3 ターゲット
- 4 戦略と具体的な施策例
- 5 推進体制
- 6 戦略期間と成果指標

# 第1章 MICEと戦略策定について

---

- 1 MICEとは
- 2 戦略策定の背景・目的
- 3 都市型MICE 振興の意義・効果
- 4 都市型MICE 振興戦略の位置づけ

- MICEはMeeting（会議）、Incentive Travel（報奨旅行・研修）、Convention（国内外学会・総会）、Exhibition/Event（展示会・見本市、その他イベント等）の頭文字を取った言葉で、一般的な観光とは異なる集客交流の機会を提供するビジネスイベントを指します。

区分	項目	定義	具体的事例
M Meeting	企業等の会議	企業があることを目的に開き、関係者を招集する会議	企業全国拠点会議 IT関連セミナー ビジネス啓発セミナー
I Incentive	企業等の報奨旅行・表彰、研修旅行	企業が行う、在籍する職員、販売代理店、顧客などを対象に実施する表彰、研修、報償などを目的とした旅行	営業成績優秀者表彰式 会社設立周年行事旅行
C Convention	国内外学会・総会 国際会議 その他会議	国際機関、一般団体、学会等が主催、またはその他形態で実施する会議	第〇〇回△△全国大会in沖縄 第〇〇回△△学会沖縄大会
E Exhibition/Event	展示会、見本市、商談会、各種イベント	国際機関、一般団体、学会、企業等が主催、またはその他形態で実施する展示会、見本市、商談会、スポーツイベント、その他イベント	沖縄国際映画祭 NAHAマラソン 春季スポーツキャンプ

## 背景

- 那覇市は大規模なコンベンション施設はありませんが、中心市街地（国際通りエリア）を中心に、ホール・会議室などの施設や宿泊・飲食施設が集積しており、コンパクトなエリアでMICE開催が可能となっています。これまでも、市内では企業研修や各種セミナー、団体等の大会や学術系学会等が開催され、多くの参加者が那覇市を訪れています。
- なかでも、令和3年（2021年）10月に国際通りエリアに那覇文化芸術劇場なは一とが開館したことで1施設での収容人数が1,600人規模に拡大したことにより、エリアで連携したMICE開催誘致を図ることで、従来よりも参加人数の多いMICE受入の可能性が広がっています。
- このような環境変化を捉え、充実した都市機能が集積する強みを最大限活かしながら都市型MICEの受入促進に取り組み、観光事業者のみならず来街者の増加による他産業への波及効果を拡大し、全体の稼ぐ力の向上を図ります。

## 策定の目的

- 那覇市のMICEに関する計画は那覇市観光基本計画の一つの取組としていましたが、MICEは専門性が高く一般的な観光と性格を異にする部分もあるため、観光分野の中でもMICEに特化した戦略を策定し、本市のMICE関連施策を推進します。  
なお、戦略に当たっては、沖縄MICE振興戦略の趣旨を勘案しつつ、本市の充実した都市機能が集積する強みを最大限に活かした施策を優先かつ重点に実施する戦略を描きます。

出典：「沖縄MICE振興戦略」（沖縄県）

## 都市型MICE

那覇市（本戦略）における都市型MICEとは、那覇市の施設を中心に次の3つの強みを活かし、必要な場合は、複数施設の連携による開催を含めた参加者の市内宿泊を伴うMICEを本市における都市型MICEとします。

- ✓ 空港や港を有するとともに、モノレールを含めた陸上交通の結節点
- ✓ コンパクトな中心市街地において、公共及び民間のMICE実施可能施設が集積していること
- ✓ 宿泊施設及び飲食施設等の関連施設が近隣に集積していること

- 観光庁が掲げるMICE振興の意義は、MICEによる人の集積によりビジネス・イノベーションの機会創出、また比較的滞在が長く、消費するファクターの裾野が広いことから地域経済への貢献が高く、情報集積による研究環境の向上やひいてはその地域、国の国際競争力につながることを期待されています。

## 1 高い経済効果

- MICE開催を通じた主催者・出展者・参加者等の消費支出は、開催地域を中心に大きな経済波及効果となる
- レジャー目的（一般観光）よりも高い経済効果を生み出す

## 2 ビジネス機会の創出

- 国際会議や展示会の機会を活用したネットワーク販路拡大
- グローバル企業との共同研究や世界の先進的研究者との交流創出 など

## 3 交流人口の平準化

- 観光（休日型）
- MICE（平日型）

## 4 都市ブランド・競争力向上

- 世界都市ランキング（国際会議件数など）
- MICEを通じたネットワーク構築により都市の競争力向上

## 5 レガシー効果

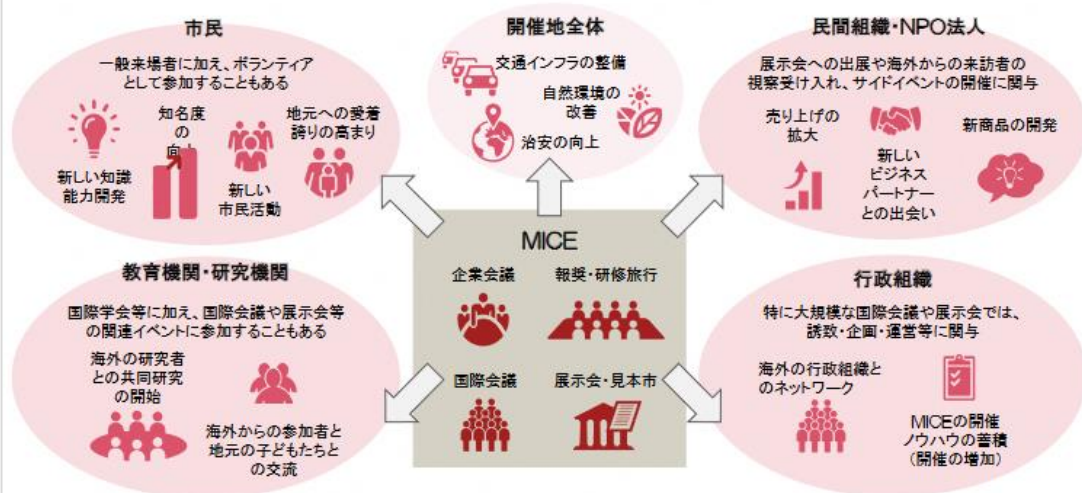
- 幅広いステークホルダーに経済波及効果以外の効果が生じる

### 経済波及効果（平成30年4月18日公表）

平成28年の国際MICEによる経済波及効果	約1兆590億円
新たに生じた雇用創出効果	約96,000人分
税収効果	約820億円
外国人参加者一人当たり平均消費額	約33.7万円（航空費込）

出典：観光庁国際観光部 MICE室

### レガシー効果の波及イメージ（一例）



## 3つの効果

那覇市がMICE受入・誘致を推進することで、次の3つの効果を取り込むことが期待されます。

1	地域への 経済波及効果	<ul style="list-style-type: none"><li>● 観光閑散期の需要喚起</li><li>● 主催者による支出</li><li>● 参加者によるMICE前後の滞在</li></ul>
2	学術・産業分野及び 都市ブランド化の向上	<ul style="list-style-type: none"><li>● 那覇市の戦略的産業及び多様な産業振興 戦略的産業：情報通信産業、物流、観光 多様な産業振興：文化 等</li><li>● 那覇市の都市ブランドの発信<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国際観光都市（世界遺産～首里城・奇跡の一マイル国際通り）</li><li>・ 文化資源を活用した都市ブランディング</li></ul></li></ul>
3	地域・市民へ もたらされる効果	<ul style="list-style-type: none"><li>● 市民講座等による教育機会や一般来場・ボランティアなど新たな市民活動創出</li><li>● MICE参加者と地元のこどもたちの交流 など</li></ul>

- 那覇市の観光分野において根幹となる“那覇市観光基本計画”の中で、MICE分野の振興を具現化する戦略として位置付けます。
- 戦略の策定・推進にあたっては、沖縄県のMICE分野を具現化した沖縄MICE振興戦略との連携、那覇市の関連計画と連携した取り組みを推進します。



第5次那覇市総合計画

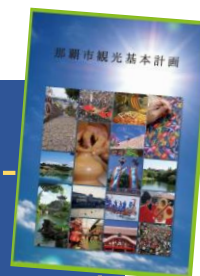


沖縄県第6次  
観光振興計画

連携



那覇市観光基本計画  
(那覇市コロナ期観光回復戦略)



MICE分野を  
具現化



那覇市都市型MICE振興戦略

連携



沖縄MICE  
振興戦略



連携

那覇市関連計画

- ・ 中心市街地活性化基本計画
- ・ 那覇市文化芸術基本計画
- ・ 第4次那覇市男女共同参画計画  
(なは男女平等推進プラン) など



## 第2章 那覇市MICEの現状について

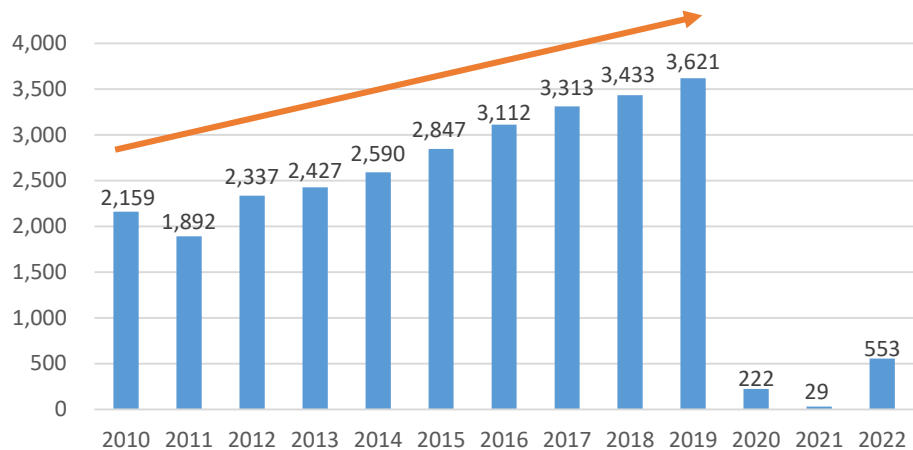
---

- 1 国内のMICE を取り巻く環境
- 2 那覇市のMICE受入施設（中心市街地エリア）
- 3 那覇市のMICE受入状況
- 4 MICE推進上の課題

1 国内のMICEを取り巻く環境

- JNTOの「2022年国際会議統計」によると、2019年のピークを迎えるまで国際会議開催件数・参加者数ともに増加傾向にあります。
- ピークの2019年においては、主要都市がMICE開催の中心で、沖縄県は全国15位となっています。

▼国際会議開催件数（件）



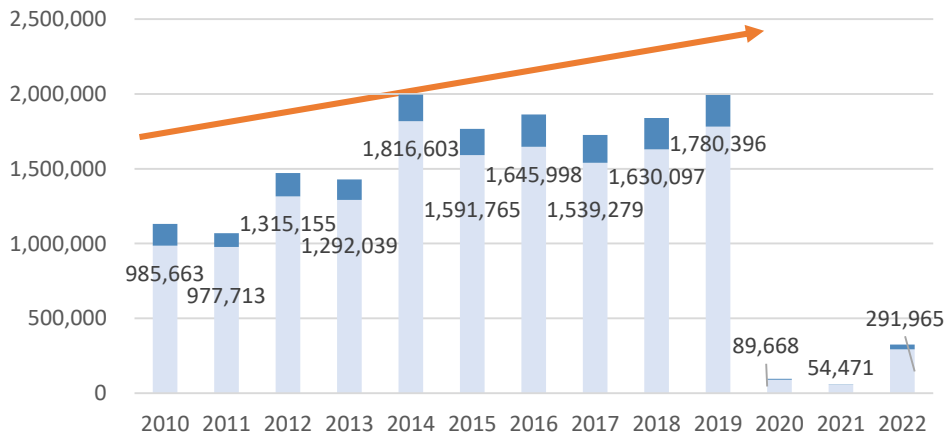
※2020年以降は、ハイブリッド会議開催 + 対面会議開催件数

▼2019年都市別国際会議開催件数（件）

ランキング	都道府県名	開催件数
1	東京都	581
2	福岡県	464
3	兵庫県	461
4	京都府	398
5	大阪府	300
6	神奈川県	282
7	愛知県	259
8	宮城県	139
9	北海道	115
10	千葉県	109
11	広島県	92
12	茨城県	60
13	岡山県	43
14	奈良県	35
15	沖縄県	35

JNTO国際会議統計（2019年）より作成

▼国際会議参加人数（人）



■ 国内参加者数 ■ 外国人参加者数

出展：JNTO国際会議統計

- 観光庁は国際MICE誘致競争力強化を図るため、「グローバルMICE戦略・強化都市」を選定し、様々な支援を行っています。近年では、グローバルMICE都市以外の地方都市にも支援対象を広げ、コンベンションビューロー支援事業を実施し、MICE誘致・開催件数の底上げに取り組んでいます。
- 地方都市でも独自にMICE戦略を策定し、誘致目標を明確に産学官連携協議会を設立するなど、MICE誘致と受入態勢の強化に取り組んでいます。

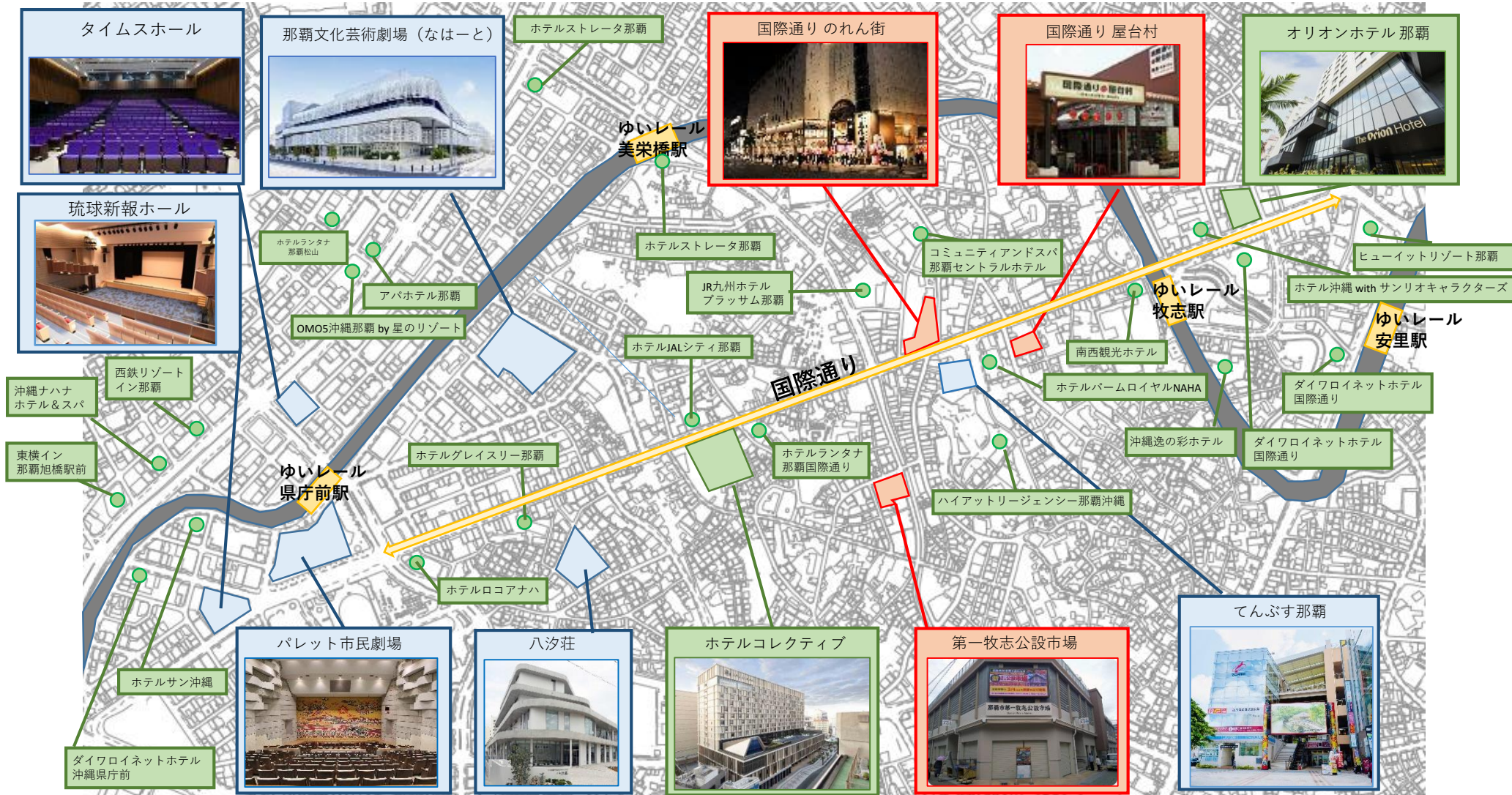
▼中核市における取組事例

	長崎市	大津市
受入体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>- MICE分野は「長崎市」「DMO：（一社）長崎国際観光コンベンション協会」「出島メッセ長崎：（株）ながさきMICE」の3者で役割分担・情報共有を行う。</li> <li>- 長崎市MICE事業者ネットワークを構築し、市内事業者が相互に連携することでコンベンション業務受注拡大を図り、地域活性化等に資することを旨とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 大津市MICE推進室を中心に、市内のステークホルダーや行政が担う役割を明確にし、地域一丸となったMICE推進体制を構築。</li> </ul>
開催支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 開催検討から開催後までワンストップ・サポート（会場の提案、専門事業者紹介、各種資料など情報・物的支援、歓迎看板など歓迎ムード醸成など）</li> <li>- 長崎MICE誘致推進協議会では、企業、団体、大学等が行うMICE誘致活動を予算内で支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 会場の調整や会場間輸送等ワンストップで調整を担う窓口の整備検討</li> <li>- 開催助成金制度の見直し（びわこビジターズビューローと連携し、助成金制度の提供を検討）や、視察支援、サステナブルな取り組み支援、誘致提案書の作成などの支援や、特有のノベルティの提供を実施。</li> </ul>
地域で稼ぐ仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 「まちMICEプロジェクト」を推進し、MICEの参加者や同伴者の回遊を促進。</li> <li>- ユニークベニューの活用促進、MICE参加者向けのアクティビティの充実、おもてなしの機運醸成に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 専用Webサイトを構築し、MICE専用のプロモーションツールを作成。</li> <li>- 地元事業者の情報提供を行い、市民の積極的な参加を促進。</li> <li>- 商工会議所と連携した新たなネットワークを構築し、地元企業や研究者がMICEに積極的に参加できる環境を整備する。</li> </ul>
誘致活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>- DMOと民間事業者との連携により情報発信と誘致活動を行い、観光案内所を設置して利便性の向上を目指している。</li> <li>- データ分析に基づいた戦略を用いた一元的なプロモーションを実施し、誘客効果の最大化を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 直接訪問や各種展示会への出展による誘致活動を行い、国やJNTOと連携しプロモーション事業に参加。</li> <li>- 民間事業者と連携した誘致促進事業やモニターツアーを実施する。</li> </ul>
	出典「長崎市観光・MICE戦略」「長崎市DMO事業計画」	出典：大津市MICE推進戦略

## 2 那覇市のMICE受入施設（中心市街地エリア）

### 中心市街地エリア

➤ 那覇市の強みである会議・宿泊・飲食施設集積状況の一例として、中心市街地エリアの立地状況を以下図のとおりです。  
 ※宿泊施設は客室100室以上かつ収容人数300名以上、飲食施設は店舗が集積した施設を一例として示しています。



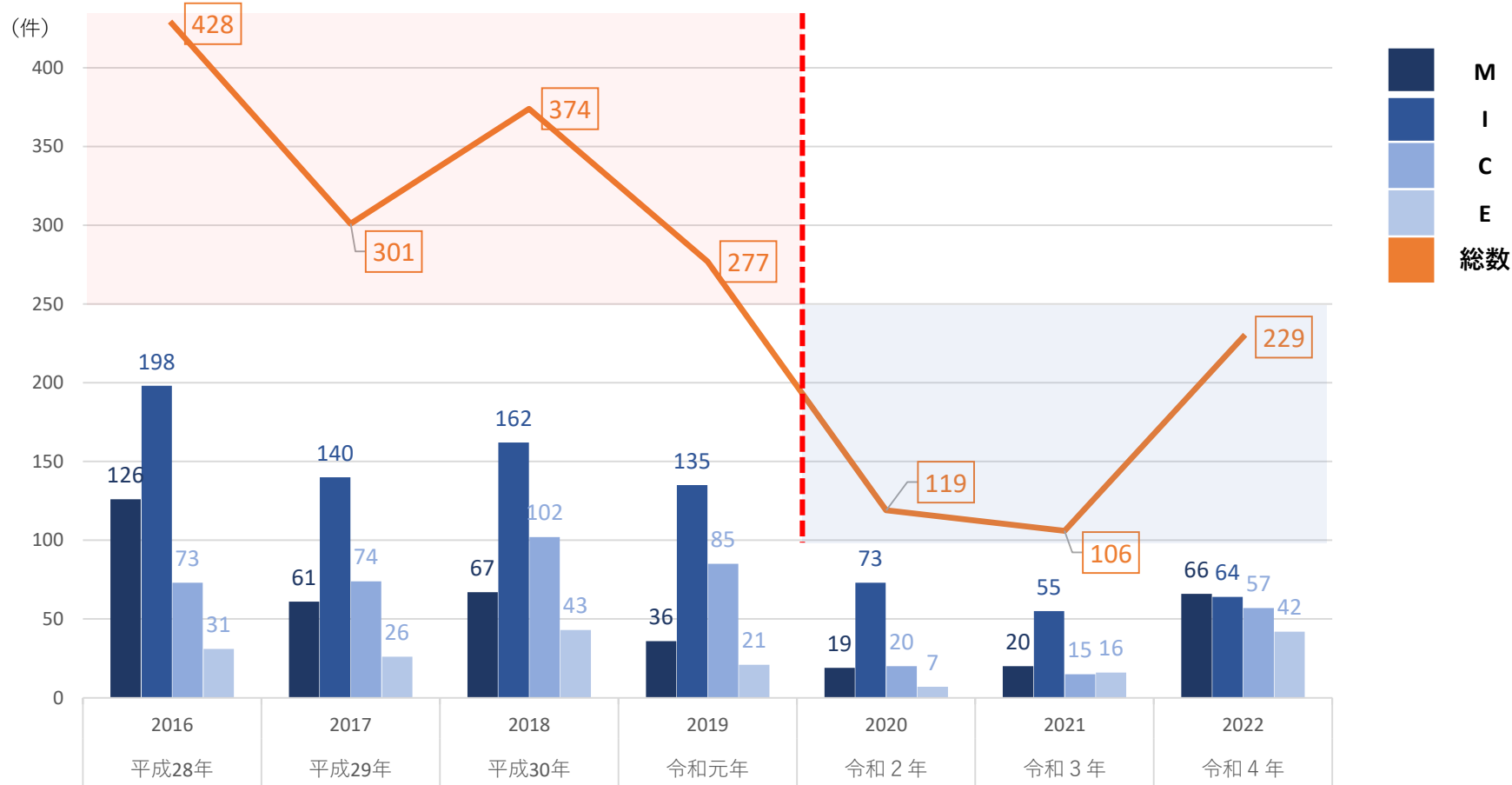
※青は会議施設、赤は飲食施設、緑は宿泊施設

出所：那覇市の観光統計「那覇市内の主な宿泊施設の立地状況」（条件：100室以上かつ収容人数300名以上）

那覇市におけるMICE受入状況

- 本市におけるMICE開催状況は、200～400件台で推移していたところ、新型コロナウイルス感染症流行（2020年～）の影響を受け、100件程度まで落ち込みました。最新の調査結果（2022年）では、229件まで回復しており、今後は件数が増加していくことが期待されます。
- 本市のM～E別の開催状況では、I>M>C>Eの順番で開催件数が多くなっています。企業系会議が開催可能なMICE施設や充実した宿泊・商業施設の立地、また、多くの企業が立地しビジネス活動に適していることから、インセンティブ旅行や企業ミーティングに好まれていると考えられます。

▼那覇市催事開催件数



- MICE開催に先進的に取り組む都市や那覇市が実施したモニターツアー参加者意見を踏まえ、MICE受入・誘致を推進するための課題を、大きく次の4つに整理しました。

### 都市型MICEの受入・誘致を推進するための課題

#### ■ 課題1 受入体制の構築

- MICE推進都市では、MICE受入・相談対応の窓口一本化し主催者への開催サポートに取り組んでいます。
- また、MICE施設をはじめ、飲食、宿泊、観光等のMICE関連事業者との連携強化および市民に対するMICEがもたらすメリットの理解促進と受入機運醸成や、市民がMICEに参加する仕組みを構築しています。

⇒主催者の円滑な開催サポートや受入地としての機運作り

#### ■ 課題2 地域資源や観光資源の利用促進とMICE開催支援

- MICE先進都市では、コンテンツの磨き上げに対する支援、MICE開催に対する助成、ノベルティグッズなどの無料配布などを開催支援メニューとして提供しています。
- モニターツアー参加者より「那覇独自の観光資源は充実しているが、MICE向けに磨き上げる必要がある。」と意見がありました。

⇒開催支援、MICE向けコンテンツへの磨き上げ

#### ■ 課題3 地域で稼ぐ仕組みの構築

- MICE推進都市の事例として、MICE開催効果をまち全体に波及させるため、MICE参加者や同伴者の回遊を促進し、滞在時間と消費の拡大につなげるとともに、MICE開催をまち全体で歓迎しおもてなし機運を醸成する仕組みを構築しています。
- MICE開催を支援するため事業者ネットワークを構築し、地域事業者の紹介や受注促進を図っています。

⇒参加者回遊性向上や地域事業者と主催者を繋ぐ仕組み

#### ■ 課題4 効果的な誘致活動

- MICE先進都市では、地域の産学官連携および商工団体等プレイヤーと連携し、エリアでの誘致活動や、データの収集分析により一元的なプロモーションを実施しています。
- また、関係団体が行う誘致活動に係る旅費の支援などに取り組んでいます。

⇒エリア単位で地域事業者と一体となった誘致活動

## 第3章 都市型MICE振興戦略

---

- 1 基本的な考え方・視点
- 2 取組の柱
- 3 ターゲット
- 4 戦略と具体的な施策例
- 5 推進体制
- 6 戦略期間と成果指標

## MICE振興によりめざすまちの姿

ヒト・モノ・コトが集い、育ち、ひろがる 万国津梁（世界との懸け橋）のまち NAHA

アジア主要都市との近接性や集積する都市機能・自然豊かなリゾート地への交通結節点である特性を活かした「ビジネス・リゾート」、琉球王国時代から受け継がれてきた誇り高い「歴史・文化」が融合するMICE都市として新たな地位を築きます。

- 那覇市第5次総合計画では、めざすまちの姿の一つに「ヒト・モノ・コトが集い、育ち、ひろがる 万国津梁のまち NAHA」を掲げ、「ビジネス・リゾートと歴史・文化が融合する観光まちづくり」の政策展開に取り組んでいます。
- 本戦略期間でMICEの受入体制構築や各種支援、誘致活動に取り組み、那覇市第5次総合計画に掲げるめざすまちの姿の実現を、MICE振興を通して加速させます。



- 那覇市MICE振興に向けた基本的な考え方として、次の2つの視点のもと、3つの取組の柱、4つの戦略をまとめます。

### 1 経済振興の視点

都市型MICE振興にあたり、本市が産官学連携を牽引する立場に立ち、観光産業に加え他産業（情報通信産業、物流、都市計画、文化など）にも波及効果をもたらし、地域全体で稼ぐ体制や仕組みを構築する視点。

### 2つの視点

### 2 街づくりの視点

MICEの振興、ひいては観光振興を通じて良好な景観形成や住民生活の向上、文化・歴史の継承（伝統文化、歴史的遺産や文化財の保存・継承）、MICEで集う人々への那覇の魅力発信による交流人口創出などを通じた持続的な街づくりの視点



- MICE振興の取組の柱として「受入体制の構築」「那覇ならではの価値の提供」「ターゲットを見据えた誘致」の3つを掲げます。

## 取組の柱 1

### 受入体制の構築

- 本市がMICE受入を推進していくため、受入地側と主催者の橋渡し機能を構築し、主催者の要望等を踏まえ適切なMICE関係事業者を紹介するなど、地域事業者とのネットワーク構築を目指します。また、本市のみならず周辺エリアも含めてMICE受入を推進するため、MICE関係事業者・関係機関・団体との連携を図ります。
- 市民がMICEの効果を楽しむ観点から、市民に対するMICEの理解促進や実際にMICEに参加できる機会を創出します。

## 取組の柱 2

### 那覇ならではの価値の提供

- 伝統芸能（琉球舞踊やエイサー、空手、旗頭等）の鑑賞や体験、伝統工芸品（首里織・壺屋焼等）の製作見学や体験など、那覇市ならではの文化・芸術・伝統に触れる場を提供し、MICE参加者へ認知向上・消費促進を図るとともに、伝統文化の継承や担い手の活躍の場を創出します。
- “食”をMICE開催成功の重要ポイントと捉え、琉球王朝時代に諸外国との交流の中で人々の生活に根付いて育まれてきた琉球料理や泡盛、那覇のまちぐわぁー（市場）という独自の雰囲気に包まれて食する地域の料理など、MICEを契機に訪れる人々が知り、楽しむ機会を提供し、参加者満足度を押し上げます。

## 取組の柱 3

### ターゲットを見据えた誘致

- 市内の会議施設や宿泊施設が集積している強みを活かし、経済振興と街づくりに寄与するMICE開催誘致に取り組みます。

## ターゲットの考え方

- MICEとして開催される催事は多岐に渡りますが、経済振興の視点・街づくりの視点からターゲットを明確にし、対象のMICEに対して効果的な開催支援や誘致を進めます。
- ターゲットは、本市が定義する“都市型MICE”（那覇市の施設を中心に那覇市の強みを活かした参加者の市内宿泊を伴うMICE）であることを前提に、最重点ターゲット・重点ターゲットを定めます。



「都市型MICE」：本市の施設を中心に本市における強みを活かし、必要な場合は、複数施設の連携による開催を含めた参加者の市内宿泊を伴うMICEを本市における都市型MICEという。

- ① 空港や港を有するとともに、モノレールを含めた陸上交通の結節点
- ② コンパクトな中心市街地において、公共及び民間のMICE実施可能施設が集積していること
- ③ 宿泊施設及び飲食施設等の関連施設が近隣に集積していること

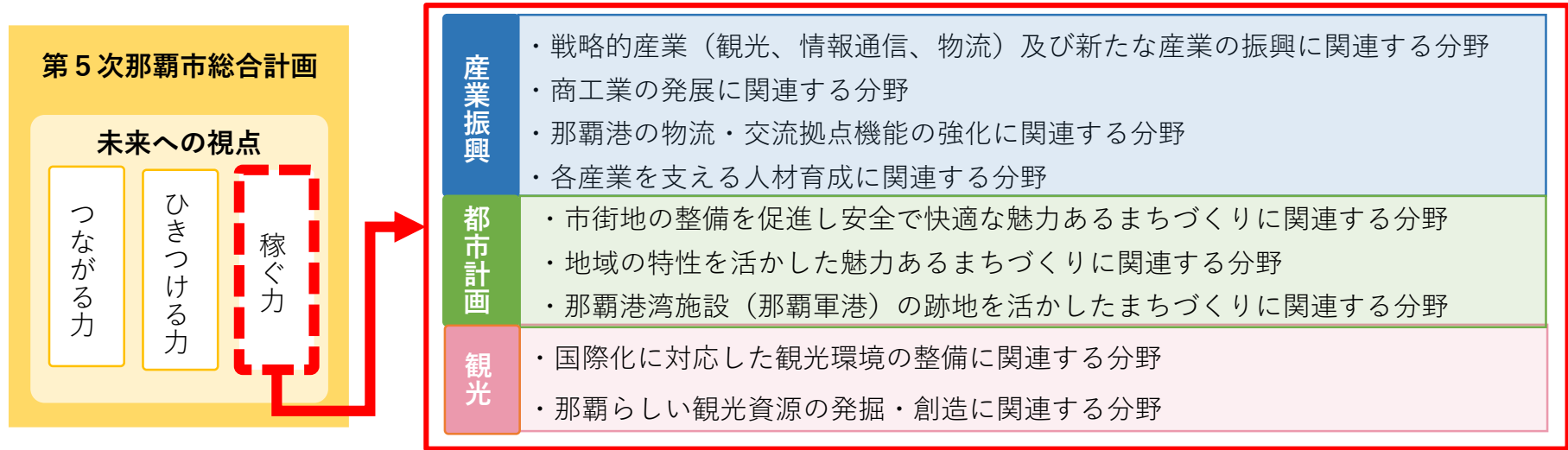
## 分野の考え方

### ■ 第5次那覇市総合計画における未来への視点のうち、“稼ぐ力”に最重要視点を持つ分野の施策推進に貢献するMICE

#### ■ “稼ぐ力”に最重要視点を持つ分野

- ・ 第5次那覇市総合計画では施策遂行する上で、未来を拓く視点として「つながる力」「ひきつける力」「稼ぐ力」の3つの力を位置付けています。
- ・ 同計画の施策のうち、「稼ぐ力」に最重要視点をもって遂行する施策に関連する分野のMICE開催・誘致を推進することで、MICEを通して施策の実現に貢献します。

#### ▼第5次那覇市総合計画の施策のうち、未来への視点の「稼ぐ力」が最重要の施策



出典：第5次那覇市総合計画より作成

## 4 つの戦略

めざすまちの姿の実現に向けた4つの戦略を定め、これに沿った施策を推進します。

戦略 1	受入体制整備
	施策 1 推進体制の構築      施策 2 地域との連携推進
戦略 2	地域資源や観光資源の利用促進とMICE開催支援
	施策 3 地域資源の利用促進      施策 4 MICE開催支援
戦略 3	地域で稼ぐ力の向上
	施策 5 事業者ネットワークの構築・連携強化      施策 6 周辺エリアとの連携
戦略 4	誘致・プロモーション
	施策 7 誘致活動      施策 8 プロモーション

## 戦略 1 受入体制整備

### 施策 1 推進体制の構築

MICE受入を推進する都市として受入体制構築を目指し、那覇市を中心に関係機関や市内事業者、地域と連携しMICE受入体制を構築し、MICE受入を推進します。

#### 取組の例

- 市と観光協会の連携  
那覇市が所有する施設の有効活用や関係事業者との連携など、必要に応じて観光協会と連携し、MICE受入を推進します。
- 相談窓口の整備  
地域に詳しい立場から最適な提案やMICE誘致に向けたコンテンツ開発など主催者と地域を繋ぐ窓口機能を設置し、市内でMICE開催を検討する主催者等の利便性を高めます。
- 専門性の向上  
継続的にMICE誘致・開催支援を担う人材を育成やMICEに関する専門的な知識や経験を持った人材の登用などにより、持続的なMICE受入推進に繋がります。

### 施策 2 地域との連携推進

市民がMICEを身近に感じ、またMICE主催者や参加者も市民と交流する機会を創出する等、地域全体でMICE開催効果を楽しむよう取り組みます

#### 取組の例

- 教育機関との連携  
市内の高校、専門学校、大学と連携し、学生がMICEに参画する機会を提供することで、学生のMICEに対する理解を深めます。
- 市民のMICEへのつながり  
市民公開講座で各分野の第一人者による講演を聴講する機会の提供など、国際会議などを通じて国際交流の経験を得られる機会を創出します。
- 受入機運の醸成  
市民のMICEに対する理解と関心を高め、まちの魅力向上につながるMICE開催を歓迎する機運の醸成に取り組みます。

## 戦略 2 地域資源の利用促進とMICE開催支援

### 施策3 地域資源の利用促進

那覇ならではの地域資源の魅力を伝え、関係コンテンツの利用や関連商品・サービス消費を促すとともに、主催者・参加者ともに満足度を高めることで、リピート開催や旅行者としての再訪意欲喚起を図ります。

#### 取組の例

- 地域資源の磨き上げ  
那覇市の地域資源(伝統芸能、食文化など)やユニークベニューとして利用できる施設をMICE向けコンテンツとしての磨き上げを支援します。
- 開催支援プランの創設・活用促進  
地域資源の利用したMICE主催者・参加者の満足度向上に繋がる開催支援プランを創設し、利用を促進します。
- 公共施設・空間の活用  
重点ターゲットに対して那覇市所有施設を会議やユニークベニュー等として柔軟に運用できるよう、施設の設置目的を勘案した、利用方法を検討します。
- コンテンツパッケージ化  
個々のコンテンツだけでなく、MICE施設や芸能団体の連携などによる提供コンテンツのパッケージ化を支援し、利用促進に繋がります。

### 施策4 MICE開催支援

MICEの開催を促進するため、主催者のニーズ対応や参加者の利便性向上に繋がる開催支援に取り組みます。

#### 取組の例

- 歓迎機運の創出  
レセプションやオープニングセレモニーなどの場面での歓迎演出、歓迎機運を高めるためのシティドレッシングなど、歓迎機運を高めるツールの活用を推進します。
- 分散開催の支援  
会議・レセプション・食事など徒歩圏内で会場分散して開催する場合の会場案内サイン設置等の協力や雨天時の移動支援など円滑な開催ができるようサポートします。
- 参加者向けの情報発信  
空港からのアクセスや飲食店等の情報提供、プレ・ポストMICEを推進するため那覇市及び那覇周辺エリアの自然・文化などの地域資源を発信し市内周遊や市内延泊等に繋がります。
- 参加者の回遊性向上  
MICE参加者の会議やイベント前後の市内回遊を促進する仕組みづくりに取り組みます。
- デジタル技術の実証・活用  
分散立地するMICE施設や観光施設間の円滑な移動を目指したデジタル技術活用やMICE施設、宿泊、飲食、コンテンツなどMICE開催に必要な手続きの一元化を目指したデジタル技術活用に向け検討します。

## 戦略 3 地域で稼ぐ力の向上

### 施策5 ネットワークの構築・連携強化

地域全体でMICE開催の効果を取り込み、稼ぐ力の向上を図るため、市内事業者等のMICE受入ネットワークを構築し、主催者ニーズへ柔軟に対応できる体制構築を推進します。

#### 取組の例

- ネットワーク構築と市内事業者への啓発  
MICE開催に必要なサービス等を提供する地域の事業者とのネットワーク構築を目指します。また、MICEによりもたらされるビジネスメリットの周知啓発により、事業者のMICE受入の意欲喚起を促し、ネットワークに加入する会員の拡大を図ります。
- マッチングと会員同士の連携強化  
MICE主催者等に対する会員の紹介やマッチング、事業者ネットワーク会員同士の連携強化など、事業者の活躍の場を創出します。
- 情報共有と戦略的に稼ぐための実証  
事業者ネットワーク会員の協力を得て未来のMICE開催情報を収集し、主催者のアプローチや会員同士の連携で如何に地域で稼ぐ力の向上に繋げることができるか等の実証を検討します。
- データやエビデンスに基づく施策立案  
経済波及効果の試算・分析、各種データの収集に努め、データに基づく施策立案を検討します。

### 施策6 周辺エリアとの連携

MICE開催に当たり、一つの施設・事業者・自治体の枠を超え、主催者のニーズや要望に合わせた価値の提供ができるよう連携を推進します。

#### 取組の例

- 周辺エリアとの連携  
アフターMICEやユニークベニューなど、提供コンテンツの多様化・充実化を目指し周辺市町村等との連携を推進します。

## 戦略 4 誘致・プロモーション

### 施策7 誘致活動

ターゲットの考え方に沿ったMICE誘致に向け、主催者等への情報発信やキーパーソンに対する働きかけを行います。

#### 取組の例

- 情報発信  
重点ターゲットを対象とした開催支援や柔軟な施設運用等に関する情報発信を行います。
- 地域キーパーソンへの営業  
企業や大学、各種団体沖縄支部等を対象に、MICE開催予定・開催意向調査を実施し、誘致可能性の高いMICEの積極的な誘致の働きかけを行います。
- 誘致支援  
那覇市開催による意義・効果が高いMICEに対しては、誘致活動を行う団体等への支援を行います。

### 施策8 プロモーション

ターゲットの考え方を意識したMICE開催地NAHAをPRするツール等作成し、本市のMICE開催の魅力を発信します。

#### 取組の例

- PRツール作成  
那覇市でMICE開催する理由やメリット、開催する場合の関連施設、アフターMICE等で活用できるコンテンツを広く紹介するPRツールを作成します。
- MICE商談会等への出展  
MICE商談会に出展し、MICE開催地としての魅力の発信、関係者とのネットワーキングに努め、誘致促進に取り組みます。
- MICE都市ブランドの磨き上げ  
那覇市のMICE開催上の魅力の磨き上げ、ブランドイメージの確立に向けて検討を行います。



■ イメージ

めざすまちの姿

ヒト・モノ・コトが集い、育ち、ひろがる  
万国津梁（世界との懸け橋）のまち NAHA

2つの基本的な考え方

経済振興の視点

街づくりの視点

地域全体で稼ぐ体制や  
仕組みの構築

市民・地域の  
持続的な街づくり

3つの取組の柱

取組の柱 1

取組の柱 2

取組の柱 3

受入体制の構築

那覇ならではの価値の提供

ターゲットを見据えた誘致

4つの戦略

戦略 1

戦略 2

戦略 3

戦略 4

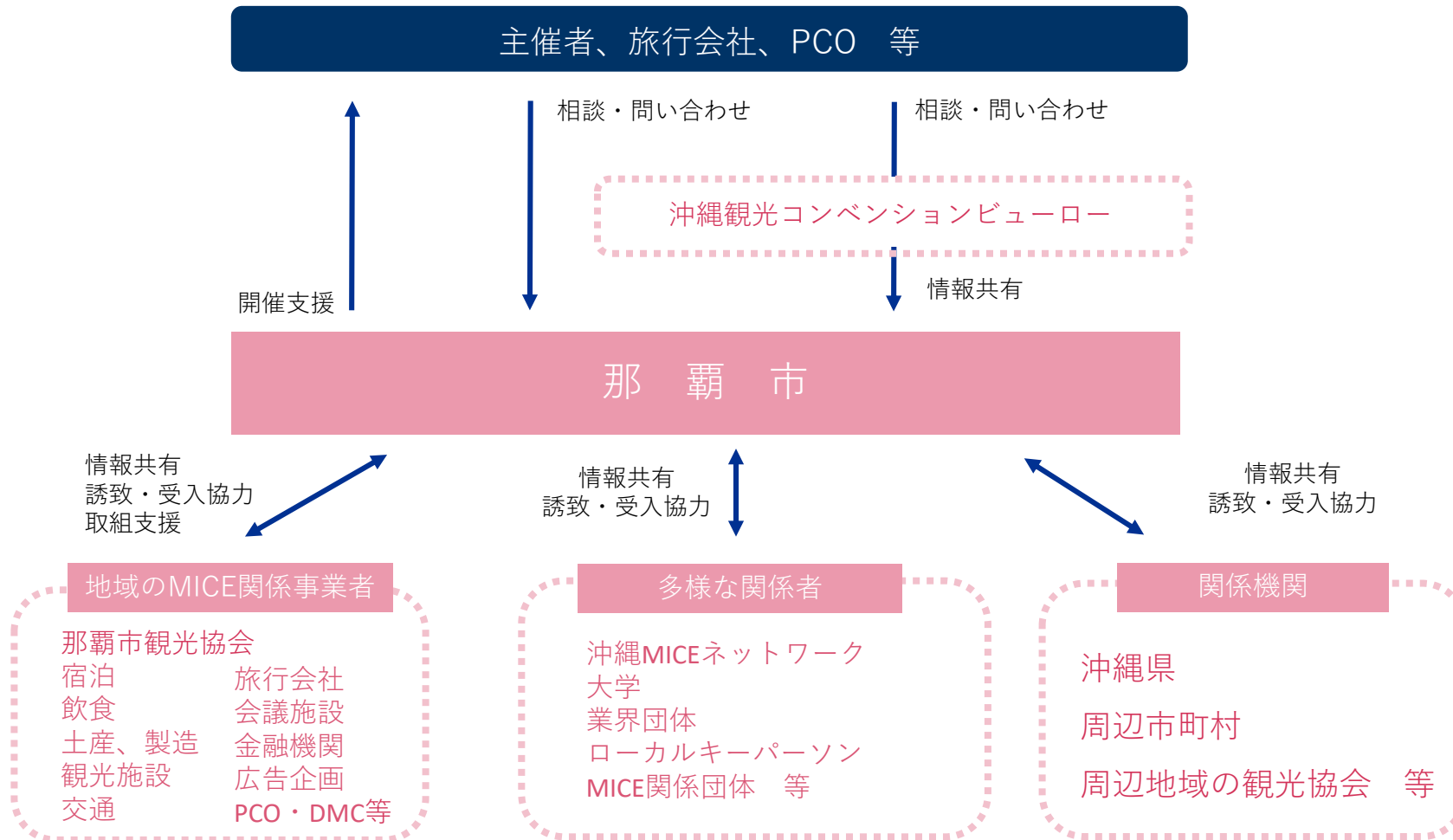
受入体制整備

地域資源や観光資源の  
利用促進とMICE開催支援

地域で稼ぐ力向上

誘致・プロモーション

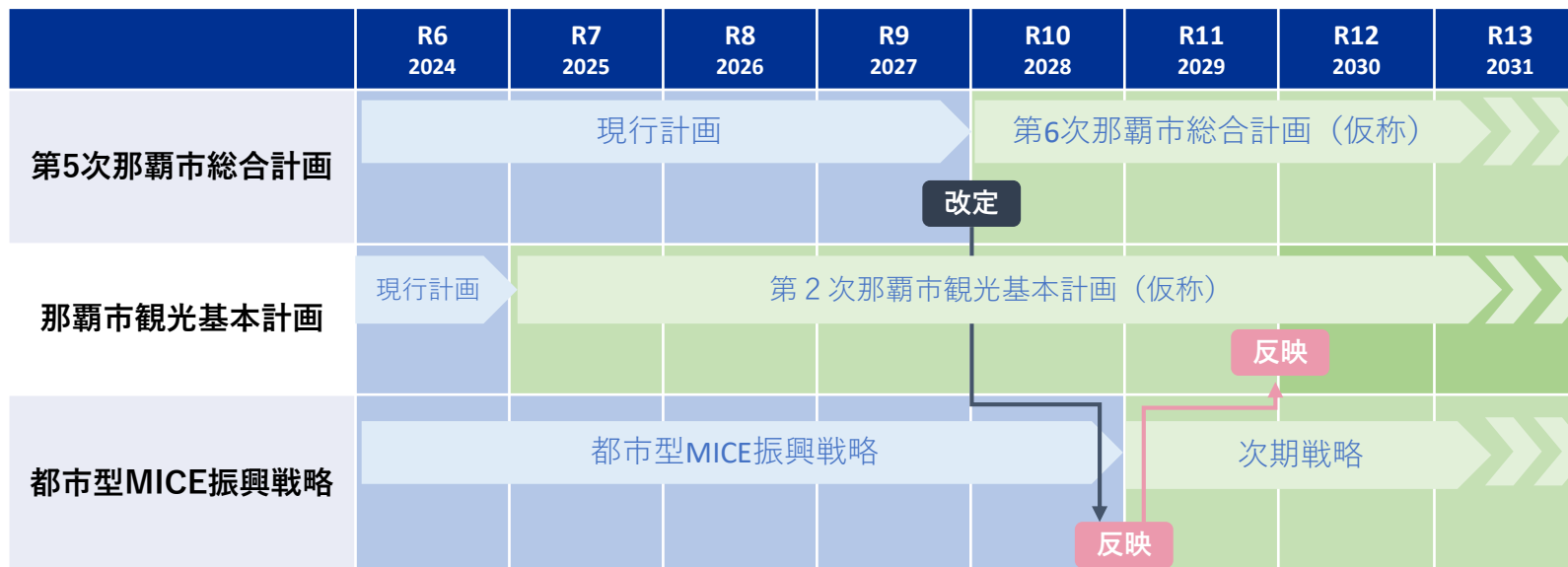
■ 那覇市を中心に、以下図のように関係者との連携体制を構築し、本戦略に基づく施策を推進。  
 ※本戦略前期（R6～R8：3年）経過時点で体制の検証を行い、必要に応じて見直しを行います。



戦略期間

■ 令和6年度から令和10年度までの 5年間 とします。

- MICE振興の方向性として掲げる「受入体制の構築」、「那覇ならではの価値の提供」、「重点ターゲットの誘致活動」いずれも主体的な取組に着手できていません。本戦略期間中に、本戦略で掲げる方向性に沿った戦略を展開し、地域全体で稼ぐ体制や仕組みの構築、市民・地域の持続的な街づくり取り組みを進めている状態を目指します。
- また、上位計画との関係では、第5次那覇市総合計画の改定内容を踏まえて本戦略の見直しを検討します。また、（仮称）第2次那覇市観光基本計画の中間見直しにおいては、MICE分野に関わる本戦略を踏まえた見直しを検討します。



### 成果目標

■ 成果目標は、前期・後期の施策展開を踏まえて設定します。

- 本戦略を前期・後期に分け段階的な施策展開とそれに関連する成果目標の設定を行います。
- 前期の成果目標は施策展開として連携（体制）強化、主催者等への支援実施が主になるため「事業者ネットワーク会員数」「那覇市MICE開催支援件数」を成果目標とします。
- 後期は、前期取組を継続実施、及び、市民・地域との連携強化やターゲットとするMICEの積極的誘致活動を強化するため、これらを踏まえた成果目標を中間見直し時に設定します。

### 戦略期間：令和6年度～令和10年度

**施策展開**

**成果目標**

事業者 ネットワーク会員数	会員加入数
那覇市MICE 開催支援件数	開催までに各種支援 実施した件数

**参考指標**

那覇市MICE 開催件数	229件
-----------------	------

